

「ことばの学習教室」日本語再発見！

～豊かなことば、豊かなコミュニケーション～

国語 総合（ことば）

- ・実施日 2019年3月14日（木）
- ・実施校 石川県小松市立板津中学校 1年生3クラス
- ・講師 加藤 昌男氏 NHK日本語センター専門委員
- ・内容 ※ ことばには多くの意味があることを知り、使い分けることの大切さ・楽しさを学びます
 - ① 新聞の4コマまんが。子どもたちが「先生、とってー！」と叫びます。そのあと、とんだ行き違いが起こります。日本語の「とる」にはどんな使い方があるか、漢字でどんな字を書くのかをみんなで考えます。
 - ② 「ふだんことば」と「改まりことば」 ③ あいさつは何のため？
 - ④ ものの数え方にはルールがある。など 学びました。



【生徒からのお礼のメッセージ】

- ・お話を聞いて、国語っておもしろいなーとか、もっと知りたいという思いが出てきました。
- ・お話を聞いて、国語が好きになりました。学んだことをこれからの生活に生かしていきたいです。
- ・言葉は自分の思っていることを正確に伝えるために、ものすごく大切だということが分かりました。
- ・あまり国語が好きではありませんでしたが、興味が出ました。
- ・日常の語句をまだまだ知らないことがあるんだなーと痛感しました。新しい言葉を知る一歩となりました。
- ・僕は言葉の再発見ができたと思います。あいさつや数え方、ふだん言葉改まりことばで「なるほど」ということがあって興味がありました。学んだことを今後にかかしていきたい。
- ・私は国語がとても苦手です。でも「ことば」のおもしろさを知ることができ、すごく「ことば」に興味を持つことができました。
- ・普段絶対できないような発見をたくさんお教えて下さいました。これからは、国語辞典や漢字辞典で国語のおもしろさを実感していきたいです。
- ・あいさつの一言は相手の教養の度合いまで表していると思うと声が出なかった自分が恥ずかしく思います。
- ・国語はノートをとるだけと思っていましたが、コミュニケーションなどが中心で楽しく授業が受けることができました。
- ・あいさつには相手との関係や教養や常識の度合いやこれからあいさつを始める合図などの働きがあることも分かりました。

【生徒宛てのお返しのメッセージ】 ※小松市立板津中学校 1年生の皆さんへ

先日の「ことばの学習教室」では、熱心にまた楽しく学んでくださり、ありがとうございました。皆さんが一字一字丁寧に書いてくれたお礼のメッセージをいただきました。

私たちが毎日使っている日本語も、さまざまな角度から見直すと、新しい発見があります。皆さんの感想文には、発見したことや気づいたことがたくさん書かれていました。

「ことばって面白い」「国語が好きになった」「日本語の奥深さを感じた」そして「もっと辞書で調べてみたい」「言葉について家族と話したい」……たくさんの感想がありました。

ことばは「人と人」「心と心」をつなぐ大切なものです。皆さんは4月から2年生。日々、新たなことばに出会ったり、いろいろなコミュニケーションの場面に出会うことになるでしょう。

国語だけでなく他の教科でもさまざまな発見をして、それを大事にしていってください。 NHK日本語センター 加藤 昌男